

こっこめ通信 03 2016

「島の宝になるかも？」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

「春の嵐」。2月の週末はそんな言葉が似合う天候でした。八丈島では13日(土)・14日(日)は一日3便ある飛行機が風の影響で全便欠航。建国記念の日から飛び石連休で遊びに来た方の中には欠航を知らず、二日も延泊になってしまった方もいたようです。翌週の20日(土)の飛行機も風の影響で全便欠航。2週続けて週末の欠航は痛かったです。島の3月は転勤による離島の季節。欠航だけのご勘弁です。

さて、今回は「あの生きものたちのその後」「八丈島で見つけたタカラガイの仲間」についてのお話です。

あの生きものたちのその後

あの生きものとは、昨年秋から島の回りに多数の個体が滞在している『ザトウクジラ』と2013年4月に確認されて以来毎年八丈小島にやってきている『クロアシアホウドリ』のことです。

こっこめ通信2016年1月号で紹介したザトウクジラはその後も八丈島や青ヶ島周辺に滞在し続けています。1月28日には、八丈町が東京海洋大大学院の加藤秀弘教授を招いて勉強会を開催しました。この勉強会の中で、乱獲により減少していた個体数は増加し、あと15年で乱獲前の水準まで個体数が戻るという話がありました。個体数の増加によって今まで見られていなかった地域での目撃も増えているようです。出産する海域も広がり、今回の八丈島でもこの冬に産まれたクジラが確認されたということです。12月下旬に一時黒潮が蛇行しましたが、それほど水温の変動がなかったため、滞在できたのかもしれませんが。次の秋から滞在・出産するかは、黒潮が蛇行してしまうのか？水温が安定するのか？によるのではないのでしょうか。

クロアシアホウドリは、飛来(13年5月号)、産卵(14年2月号)、そして何者かに襲われる悲劇(14年3月号)と紹介してきました。今シーズンの飛来は紹介していませんでしたが、昨年秋以降順調に降り立っています。1月3日には12羽が降り立ち、その内の2組がペアになっているのを鳥獣保護員の森由香さんが確認しています(写真右)。このまま問題なく月日が流れれば、今年の秋には飛来数がさらに増え、雛の顔が見られるかもしれませんね。

『ザトウクジラ』も『クロアシアホウドリ』も観光に繋がる可能性のある生きものたち。この先長い期間温かく見守り続けて、いつの日か八丈島の観光の目玉に成長してくれたら嬉しいですね。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。



ザトウクジラ

2016年2月8日 八丈小島宇津木周辺



クロアシアホウドリ

撮影：森由香

2016年1月3日 八丈小島鳥打にて

八丈島で見つけたタカラガイの仲間

タカラガイは、*日本分類学会連合によれば、動物界 (Animalia) 軟体動物門 (Mollusca) 腹足綱 (Gastropoda) 前鰓亜綱 (Prosobranchia) 盤足目 (Discopoda) タカラガイ科 (Cypraeidae) に分類されます。貝殻を見てもわかりにくいですが、巻き貝の仲間になり、水中では外套膜が殻を覆っています。種類によって外套膜の色や突起の形状が異なります (写真右)。

八丈島にも沢山のタカラガイの仲間が生息していますが、岩の隙間などにいるためあまり姿を見ることはありません。しかし、海が時化した後や冷水塊の影響で水温が下がった後など、死んでしまった貝が打ち上がることもあります。また、ダイビング中に砂だまりで見つかることがあります (ヤドカリに注意)。

今回、八丈島で拾ったタカラガイを集めてみました。時間の経過で貝殻が変色してしまったり、水中で付着物が付いたり、波の影響で表面が削れてしまうことが多く、画像のようなきれいな貝はあまり見つけることはできません。

* 日本分類学会連合 (2003) 第 1 回日本産生物種数調査 <http://ujssb.org/biospnum/search.php>



貝の同定は、「日本近海産貝類図鑑」東海大学出版会、「タカラガイ・ブック 日本のタカラガイ図鑑」東京書籍、「タカラガイ 生きている海の宝石」誠文堂新光社を参考にしていますが、誤同定があるかもしれません。タカラガイの画像左下黒線は、それぞれの貝に対して 10mm のスケールです。



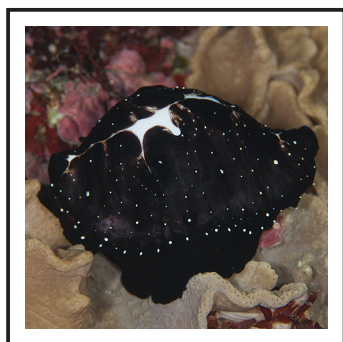
八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 2 月 14 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 28 年第 2 回） 参加者：VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			木本			シダ植物		
1	アオツツラフジ	実が残る	1	アオキ	熟した実	1	アスカイノデ	
2	アオノクマタケラン	熟した実	2	イヌビワ	実	2	アマクサシダ	
3	アキノノグシ	実	3	オオバヤシャブシ	蕾	3	イシカグマ	
4	アシタバ	実	4	オオムラサキシキブ	熟した実	4	オオイタチシダ	
5	イワニガナ	花	5	ガクアジサイ	実	5	オオタニワタリ	
6	ウスベニニガナ	花と実	6	サカキカズラ	蕾	6	オニヤブソタツ	
7	ウラシマソウ	花	7	シマクサギ	実が残る	7	タチクラマゴケ	
8	オオアレチノギク	蕾	8	タイミンタチバナ	実と蕾	8	タチシノブ	
9	オオイヌノフグリ	花	9	テイカカズラ	種子が飛ぶ	9	タマシダ	
10	オオシマカンスゲ	花	10	トベラ	割れた実	10	ナチシケシダ	
11	オニタビラコ	花と実	11	ハゼノキ	実が残る	11	ナチシダ	
12	オランダミミナグサ	花	12	ハチジョウキブシ	花芽	12	ノキシノブ	
13	カタバミ	花と実	13	ヒサカキ	蕾	13	ハチジョウカナワラビ	
14	キランソウ	花	14	ホウライカズラ	実と実の虫こぶ	14	ハチジョウシダ	
15	コナスビ	花	15	ホルトノキ	実が残る	15	ハチジョウベニシダ	
16	シマテンナンショウ	花	16	マサキ	実	16	ヒトツバ	
17	スズメノカタビラ	花	17	モチノキ	咲き始め	17	ヘラシダ	
18	タネツケバナ	花と実	18	ヤツデ	実	18	ホシダ	
19	ツルソバ	花と実	19	ヤブツバキ	花	19	ホラシノブ	
20	ツブキ	実	20	ヤマモモ	蕾	20	マツバラシ	
21	トキワハゼ	花				21	マメヅタ	
22	ノグシ	花				22	ミウライノデ	久々の記録
23	ノジスミレ sp.	花				23	ミゾシダ	
24	ハキダメギク	花				24	ヤマイトチシダ	
25	ハナイバナ	花				今回は悪天候により参加申し込みが無かったため、春一番の強風の中 解説員だけで調査し、シダ植物 24 種を含む 75 種の植物を観察しま した。		
26	ハルジオン	花						
27	ヒメクグ	実						
28	ヒメツルソバ	花						
29	フウトウカズラ	熟した実						
30	ヘビイチゴ	実						
31	ムラサキカタバミ	花						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、海に棲む「ウミウサギガイ」にスポットを当ててみたいと思います。



ウミウサギガイ

Ovula ovum

ウミウサギガイ科。紀伊半島以南の水深 20m 以浅に分布。

大きさ 10cm 近くになり、軟体部は黒く、幼貝の時は白や黄色の大きな突起が目立ちます。貝殻は真っ白ですが、殻口内は茶褐色になります。ウミトサカ科の仲間を食べるためその周辺で見られます。前ページで紹介したタカラガイとは別の仲間です。

2016 八丈ビジターセンター 3 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		1 09:35 03:25 23:14 16:38	2 10:17 04:08 17:55	3 01:14 05:31 11:28 19:27	4 03:01 07:54 13:13 20:43	啓蟄 5 ガイドウォーク 03:57 09:20 14:37 21:40
6 ガイドウォーク 04:36 10:10 15:39 22:27	7 05:11 10:51 16:31 23:09	8 05:44 11:30 17:20 23:50	9 06:17 12:08 18:07	10 06:49 00:30 18:53 12:48	11 07:21 01:08 19:40 13:28	12 ガイドウォーク 07:53 01:46 20:29 14:11
13 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 08:25 02:23 21:22 14:57	14 08:58 03:00 22:25 15:48	15 09:36 03:41 23:56 16:52	16 10:28 04:41 18:15	17 02:05 06:56 12:04 19:49	18 03:29 09:00 13:57 21:02	19 ガイドウォーク 04:12 09:56 15:13 21:54
春分 20 ガイドウォーク 04:43 10:32 16:07 22:35	21 ガイドウォーク 05:10 11:03 16:50 23:10	22 05:35 11:32 17:27 23:41	23 05:59 11:59 18:02	24 06:22 00:10 18:36 12:26	25 06:44 00:38 19:09 12:54	26 ガイドウォーク 八丈学講座 「春の植物観察会」 07:07 01:05 19:42 13:23
27 ガイドウォーク 特別行事 「植物公園でお花見」 07:30 01:32 20:18 13:54	28 07:53 01:59 20:57 14:27	29 08:19 02:28 21:44 15:06	30 08:49 03:03 22:48 15:53	31 09:27 03:50 16:57		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
3/13（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座 「春の植物観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、プラザ公園周辺で春を探します。
3/26（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 プラザ公園駐車場集合・解散 参加費：50円 定員：15名

春の特別行事 「植物公園でお花見」

今年もオオシマザクラの下でクッキー＆お茶でお花見をしましょう！太鼓もあるよ！
3/27（13:30～ 約1時間半）
だれでも 植物公園（日本の森）集合・解散 参加費：200円 定員：20名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2016.3.1 第177号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

私たちが望むように事は進まないかもしれませんが、でも、毎年続いてくれば島の宝となり、観光に繋がるかもしれません。
「ホエールウォッチングの島」「クロアシアホウドリが繁殖する島」そんな夢が現実になるといいですね。（高）